

アイスランドらしい大自然を満喫する旅

ご旅行期間とご旅行代金 【燃油サーチャージが含まれております】
2023年9月3日(日)発～9月14日(木)着…¥1,390,000 お一人部屋利用追加料金 ¥199,000



氷河湖遊覧(イメージ)



ゲイシール(ゴールデンサークル)



スヴァルティフォスの滝



オーロラ(イメージ)



ブルーラグーン(イメージ)



【小さな国の大きな自然】

アイスランドは「火と氷の島」と云われ、日本の約3分の1の国土の中に現在も活動中の200を超える火山と国土の約12%を占める氷河、多くのフィヨルドに代表される自然の驚異に満ち溢れた島国です。

このたびはアイスランドの大地をバスで巡り、太古から積み上げられた溶岩台地、億年の時を経た氷河、フィヨルドの海岸線など地球の歴史を物語る壮大なスケールの自然をご覧ください。バス周遊ツアーではありませんが、各観光地でお時間をお取りできるようヴィーク、ミーヴァトン、首都レイキャヴィクで連泊いたします。ヨーロッパ最大の滝デティフォスをはじめとする、いくつもの美しく迫力のある滝、氷河湖遊覧やホエールウォッチングなど、アイスランドならではの観光をお楽しみいただけます。

そして、アイスランド最大の見どころは、見渡す限りどこまでも続く溶岩原です。遙か昔から、幾度となく起こった火山の噴火によって、積み重ねられた溶岩原は、長い年月を経て苔むし、この世のものとは思えない独特な世界を創り出しています。人工的なものが何一つなく、空と雲、風だけがアクセントのような世界をぜひご覧ください。



アイスランドのオーロラ「ノルドゥルリューズ」

太陽で爆発が起き、そのことによって宇宙空間に放出された電気を帯びた大量の粒子が、宇宙に浮かぶ地球という巨大磁石に吸い寄せられてできる現象・オーロラ。誰もがその空に舞う美しいカーテンを一度は見てみたいと思うことでしょう。

アイスランドは緯度が高いこともあり、白夜の季節が短く、9月でも短時間の夜があります。そのため、その頃からオーロラ観測が可能になります。オーロラ発生ゾーン「オーロラオーバル」は、アイスランドをたすきがけに横断しており、8月下旬から4月頃までオーロラの観測ができるアイスランドは、温暖な気候や日照時間を考えても、とても都合の良いオーロラ鑑賞地と言えます。

今回のツアーは、アイスランドを周遊しながら、運が良ければオーロラもご覧いただける時期の設定です。

ご旅行条件

- 募集人員/13名様定員
- 最少催行人員/8名様
- 全食事付/朝食10回・昼食9回・夕食8回
- 成田・千歳空港使用料/¥4,300 (別途必要)

- 国際観光旅客税【出国税】/ ¥1,000(別途必要)
- 旅行代金には、海外の空港税、出国税、航空保安税が含まれております。
- 千歳空港より、全行程、社員添乗員同行
- トランク往復無料託送サービス【ご自宅～空港～ご自宅】
- ※大阪・福岡発着：千歳発着と同一料金
- ※成田発着：¥10,000引き
- ※ビジネスクラス利用追加料金はお問合せください。

ご利用予定ホテル

- ヴィーク/ホテルヴィークミルダール、ホテルカトラバイキホテル、ホテルディルホラエイ、ホテルクリア
- ホブン近郊/ホブニン、ミルクファクリー、ホテルホブン、ホブンベルジャヤアイスランドホテル、ホテルヨークル
- 東部アイスランド/ハラオベルジャヤアイスランドホテル、ヴァーラスキヤールヴ
- ミーヴァトン/セル、ギーグル、レイニフリーズ
- アクレイリ近郊/ノルズランド、ケア、エッダ、スタルダルピーク、アイスランドエアホテルアクレイリ、プリムネス、フォッシュホテル・ダルジーク
- レイキャヴィク/センターホテル・プラザ、クレットウール、ホテルアイランド、リンド、パークイン、ブルーラグーン、シティパーク

(注)レイキャヴィク泊は、ブルーラグーン泊に変更となる可能性がございます。※アイスランドでは、天候による道路状況により、観光内容が変更になる場合がございます。その場合でも極力日程に従って旅行サービスをご提供できるよう万全の手配努力を致します。また、バスは悪路でも走ることのできる、特別使用の小型バスを利用いたします。

都市名	スケジュールと見どころ/お食事と宿泊地
1 千歳 成田	スーツケース無料託送サービス ご自宅～空港 ■午後、千歳空港より、国内線にて、成田空港へ。 ■夜、成田空港より、フィンランド航空にて、フィンランドのヘルシンキへ [23:05発]。 [機中泊]
2 ヘルシンキ ケフラヴィーク	■ヘルシンキ到着後[05:55着]、フィンランド航空を乗継ぎ、アイスランドのケフラヴィークへ[07:45発/08:35着]。 ■着後、専用バスにて、南部アイスランドのヴィークへ。途中、落差40mの絵のように美しく、滝の裏側を歩くことの出来る滝・セーリャランドスフォス、高さ62mの豪快な滝・スコウガフォスなどをご案内いたします。 ◀ヴィークに連泊です▶ [機中泊]
3 ヴィーク (ミーダルス氷河)	■午前、ミーダルス氷河の見学へ。カトラ火山の氷の洞窟へハイキングです。 ■午後、専用バスにて、南部アイスランドを代表する景色・黒い砂のビーチにて、巨大な穴を持つ海に突き出た奇怪な断崖・ディルホラエイをご覧ください。 [機中泊]
4 ヴィーク スカフタフェットル 国立公園 氷河湖遊覧 ホブン	■午前、専用バスにて、ヨーロッパ最大のヴァトナヨークトル氷河の麓にあるスカフタフェットル国立公園へ。パイオロガンのような黒い玄武岩石柱が立ち並び中に落ちるスヴァルティフォスの滝までの簡単なハイキングへご案内いたします。氷河が作り上げた雄大な景色をお楽しみください。 ■午後、氷河湖ヨークルスサウルロウン湖にて、千年の時を経た氷河を間近でご覧いただける氷河湖遊覧へご案内いたします。 ■夕刻、専用バスにて、ホブンへ。 [ホブン近郊泊]
5 ホブン 東部アイスランド 溶岩台地	■終日、東部フィヨルド海岸地帯や不毛の溶岩台地が続くアイスランド内陸部をドライブします。アイスランド東部は、ほぼ1万年前に活動を停止した溶岩台地が広がり、氷河によって削られた美しい海岸線を形成しています。南西部とはまた違う景色をご覧ください。写真ストップをしながらの絶景ドライブをお楽しみください。 ■海辺にそびえたつギザギザの峰が特徴の山・ヴィストラホルンや東部最大の町・エイリススタジル、アイスランドで最も美しいとも謳われるフィヨルドにある町・セイジスフィヨルズルの村にも立寄りします。 [東部アイスランド泊]
6 東部アイスランド (デティフォス)	■午前、アイスランドで最も火山活動が活発な地帯で、「火山の博物館」と称されるミーヴァトン湖へ向かいます。 ■途中、ヨーロッパ最大の滝・デティフォスへ。滝の近くまで歩き、大迫力の滝の景観をお楽しみください。 ◀ミーヴァトンに連泊です▶ [ミーヴァトン泊]
7 ミーヴァトン 地獄谷	■午前、ミーヴァトン湖周辺の観光へご案内いたします。湖の南端スクートスタダギールの火口群、地獄谷ナウマフィヤツトル、火山爆発のクレーター・ヴィーティ、溶岩迷路ディムボルギルを訪れます。古い溶岩原に新しい溶岩原が重なるレイルニユールでは溶岩散策へご案内いたします。 ■夜、ご希望の方は実費にて、ミーヴァトン・ブルーラグーンにご案内いたします。 [ミーヴァトン泊]
8 ミーヴァトン フーザヴィーク 鯨ウォッチ ゴザフォス 北部アイスランド	■午前、専用バスにて、「ホエールウォッチング」の基地・フーザヴィークへ。着後、鯨の姿を求め、漁船にてスキャウルヴァンディ湾をクルーズします。 ■午後、専用バスにて、北部アイスランドへ。途中、翼を広げているかのように美しい姿を見せるゴザフォスの滝をご覧ください。 [アクレイリ近郊泊]
9 北部アイスランド レイキャヴィク ブルーラグーン	■午前、専用バスにてホフス氷河とラング氷河の間の山岳ルートを走り、レイキャヴィクへ戻ります。 ■午後、世界最北の首都・レイキャヴィク市内観光。街のシンボル・ハトルグリムスキルヤ教会、レーガン・ゴルバチョフ会談が行われたハーフジーハウス(外観)、サガ博物館へご案内いたします。 ■夕刻、世界最大級の温泉露天風呂・ブルーラグーンへご案内いたします。面の溶岩原が広がる大自然の中での温泉体験をお楽しみください。 ◀レイキャヴィクに2連泊です(注)▶ [レイキャヴィク泊]
10 レイキャヴィク (シクヴェトル 国立公園) (ゲイシール)	■午前、10世紀に世界最初の民主議会が開かれた地・世界遺産シクヴェトル国立公園で、アフリカとアイスランドでのみ見ることの出来る地球の割れ目・ギヤウや深く切り込んだ溶岩原など雄大なパノラマをご覧ください。 ■午後、アイスランド南西部の大自然・ゴールデンサークルをご案内いたします。グトルフォスの大滝、約5分毎に吹き上げる間欠泉ゲイシール(ストロックル)などをご案内いたします。 [レイキャヴィク泊]
11 レイキャヴィク ヘルシンキ	■午前、フィンランド航空にて、フィンランドのヘルシンキへ[09:25発]。 ■ヘルシンキにて、フィンランド航空を乗継ぎ、帰国の途へ[18:30発]。 [機中泊]
12 成田 千歳	■午前、成田空港到着[13:50着]。着後、国内線にて、千歳へ。 ■午後、千歳空港到着後、解散。 スーツケース無料託送サービス 空港～ご自宅 [機中泊]

※表記の時間は、すべて現地時間に表示されております。
※表記の「○」はお食事の有無を示します。「▶」は機内食、「×」の食事は含まれておりません。

日本
ヨーロッパ
アフリカ
アジア・北米
予告・その他

日本
ヨーロッパ
アフリカ
アジア・北米
予告・その他